

### 環境調査結果のお知らせ

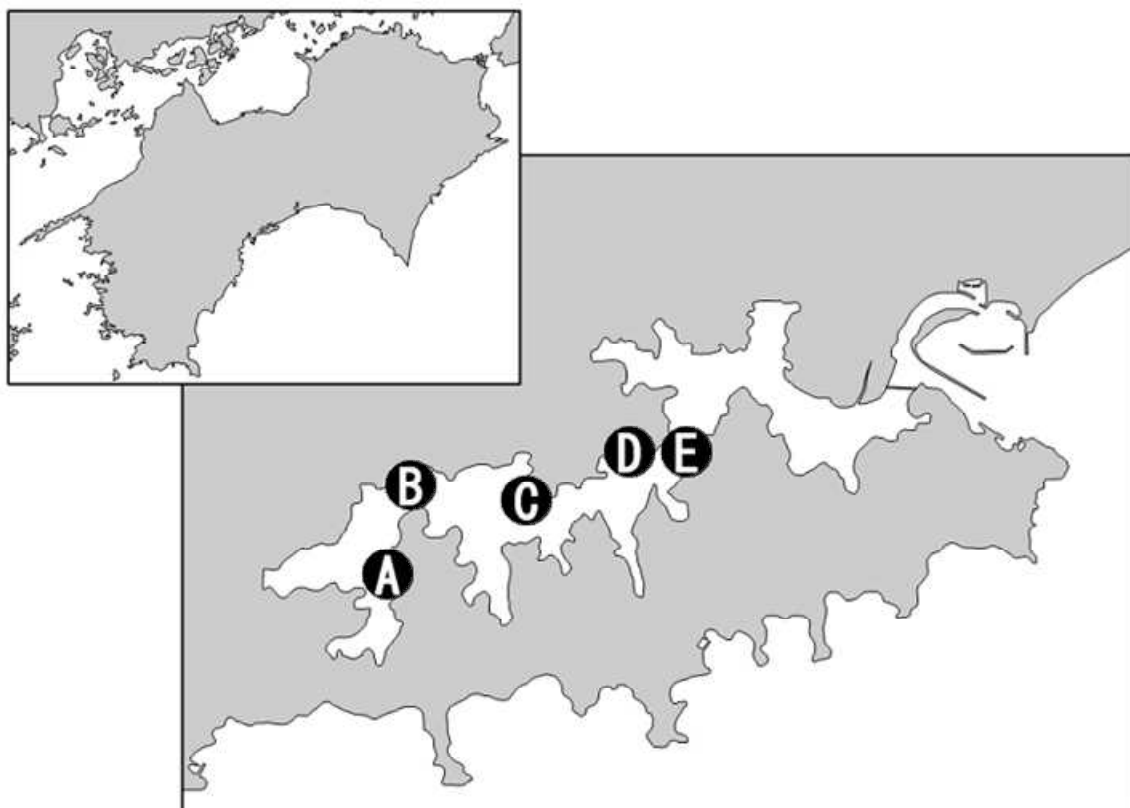
令和6年7月16日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で2 cells/mL、シャットネラ属が最高で920 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えていますので、十分注意してください。浦ノ内湾養殖漁場の10 m層及び底層が貧酸素状態となっています。今後、貧酸素水塊が5 m層付近まで拡大する恐れがありますので、注意してください。

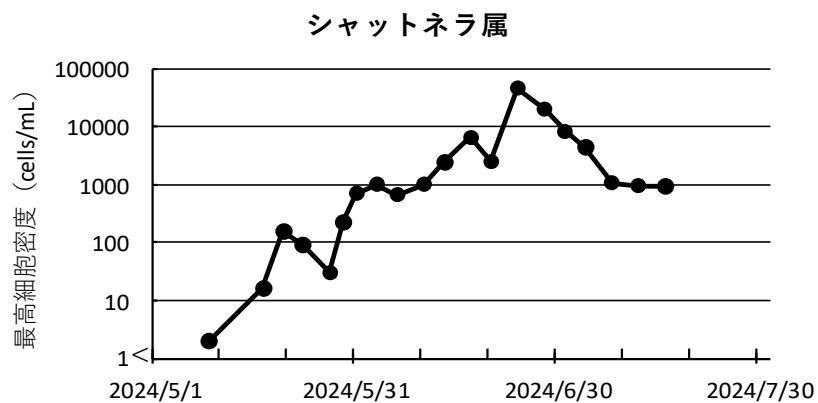
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)			
A 鳴無 (1.7m) 【10:04】	0	27.2	10.6	11.6	0	0	-
	2	29.5	28.6	11.1	0	240	-
	5	26.5	29.6	1.8	0	920	-
	底層 8	25.0	29.8	0.0	0	58	-
B 中学校前 (1.5m) 【10:15】	0	27.7	11.7	11.7	0	0	9,600
	2	29.0	28.7	12.0	0	640	6,000
	5	26.3	29.7	5.1	0	25	40
	10	24.6	29.9	0.0	0	4	40
底層 11.5	24.0	29.9	0.0	0	4	120	
C 目ノクソ (2.4m) 【10:29】	0	27.8	12.4	12.5	0	4	-
	2	28.5	28.6	10.1	0	3	-
	5	26.6	29.9	3.8	0	0	-
	10	24.8	30.1	0.2	0	0	-
底層 15.5	23.6	30.4	0.0	0	0	-	
D 光松 (2.5m) 【10:52】	0	28.8	16.8	12.9	0	0	7,300
	2	27.9	28.5	9.7	0	0	950
	5	26.4	30.0	3.6	0	0	780
	10	25.4	30.3	0.8	0	0	400
底層 16.5	23.8	30.4	0.0	0	0	380	
E 大鹿 (1.7m) 【11:01】	0	28.3	3.4	13.2	2	0	-
	2	27.7	28.2	10.2	0	0	-
	5	26.5	30.0	4.1	0	0	-
	10	25.4	30.3	1.3	0	0	-
底層 16	23.9	30.4	0.0	0	0	-	



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	<b>1,000 cells/mL</b>	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	<b>50,000 cells/mL</b>	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	<b>5,000 cells/mL</b>	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	<b>10,000 cells/mL</b>	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	<b>500 cells/mL</b>	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	<b>1 cell/mL</b>	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。